

2020年度第5回理事会議事録

一般社団法人 栃木県バスケットボール協会

1. 招集年月日 令和3年2月12日
2. 開催日時及び場所
 - (1) 開催日時 令和3年3月16日水曜日午後6時半
 - (2) 開催場所 文星芸大附属高校総合研修センター
3. 理事・監事数及び出席理事・監事数
 - (1) 理事数 28人、特任理事数 2人
 - (2) 出席理事数19人
出席特任理事数 2人
4. 出席理事の氏名
小曾戸和彦、片桐晃、齋田一郎、鎌田眞吾、鈴木克美、直井秀幸、藤本光正、佐藤昭、阿久津宏一、増淵倫巳、大平幸造、小林幹央、梶崇司、益子基久、渡邊明美、山田将樹、菊地宜秀、齋藤宣子、佐藤圭一
5. 出席特任理事の氏名
高橋哲夫、日向野剛
6. 報告事項
 - (1) 活動報告（3 x 3 委員長）

3x3日本選手権大会が予定を繰り下げ、3月20・21日に新宿住友ビル 三角広場にて開催される。本県代表の宇都宮ブレックスが出場するとの報告がある。
 - (2) 令和2年度事業報告について（専務理事）

今年度はコロナ禍のため実施できた事業が少なかった。
実施できた事業について報告があった。
 - (3) その他
 - ①BREXについて（宇都宮ブレックス 山田）
 - ・3/13天皇杯ファイナルについて
 - ・バスケットLIVEについて
 - ・今後のホームゲームについて などの報告があった。
 - ②阿部前会長表彰関係について（専務理事）
 - ・JBA功労者表彰・栃木県スポーツ功労賞・関東協会感謝状においてそれぞれ賞状ならびに金杯等が贈られた。その写真を披露した。
 - ③聖火リレーについて（専務理事）

3/29に県庁前にて聖火リレーが行われる予定である。そのサポートメンバーについて報告があった。
 - ④審判委員会より（梶審判長）
 - ・ルール及び更新講習会の実施方法の変更が発表された。
 - ・今後の大会において審判員はホイッスルカバーを装着することが発表された。
 - ・国体に向けての審判講習会の実施について説明があった。
 - ⑤ヒューマンアカデミー社からの配信事業のご提案について（専務理事）
 - ・大会の様様を各家庭に配信するなどのご提案があったので、興味のある方・カテゴリーの方は連絡してほしい旨の報告があった。
 - ⑥県協会優秀選手のお披露目会について（専務理事）
 - ・2/14のブレックスホームゲームにおいて県協会優秀選手お披露目会が実施された。その様様を撮影した写真が届いたので理事の皆さんにお見せし、報告した。
7. 審議事項
 - 第一号議案 R2年度補正予算案について
 - 第二号議案 R3年度事業計画について
 - 第三号議案 R3年度予算案について
 - 第四号議案 その他
 - ①今後の会議の開催方法について

- ②JBA裁定委員会について
- ③R3年度国体コーチについて
- ④TO委員長の選出について

8. 議長の氏名

小曾戸和彦（会長）

9. 議事経過の要領及びその結果

会長小曾戸和彦から、本日の理事会は定足数を満たしているので適法に成立する旨告げたのち、会長小曾戸和彦が議長となり審議に入った。

議長により、定款第30条第2項の規定により次の者を議事録署名人に選任したい旨を述べ、議場に諮ったところ全ての理事の一致をもって次の者が議事録署名人に選出された。

議事録署名人 益子 基久
同 佐藤 圭一

第一号議案

議長は、専務理事より内容を説明させる。

（内容）今年度の補正予算案について説明する。今年度は、コロナ禍のため登録数の減少等により収入が大幅に減った。しかしながら、同じ理由により事業数もさらに大きく減少したため事業支出においても大幅な減額となった。今後、JBAならびに県教育委員会等に対しての今年度返金額が判明しないと決定額はわからないが、今年度期末残高は当初の予算額より大きく増額となる模様であるとの説明がある。

これを議場に諮ったところ、満場異議なく原案通り可決決定した。

第二号議案

議長は、専務理事より説明を求める。

（内容）R3年度事業計画について、一覧表をもとに説明する。一部日程等の変更があったがそれについては訂正し代議員総会の際に再度提出し、代議員の皆さんに諮ることとする。なお、今年度は2022年に開催されるとちぎ国体のリハーサル年度となっており関ブロから始まり、社会人フレンドリー全国大会・全日本社会人選手権大会の計3大会を県協会としてそのリハーサル大会と位置づけたい。国体の会場が4月オープンの新しい会場をメインとするため、各自あらゆる機会に会場を訪れ、諸室の位置や動線の確認などを確かめてほしい。

これらを議場に諮ったところ、満場異議なく原案通り可決決定した。

第三号議案

議長は、専務理事より説明を求める。

（内容）R3年度予算案について説明する。今年度と違いコロナの影響も少なくなるとの予想をもとに、通常の年度予算と同様に予算案を立ててみた。

これらを議場に諮ったところ、満場異議なく原案通り可決決定した。

第四号議案

議長は、専務理事より説明を求める。

- ①今後の会議の開催方法については、リモートと対面による会議の併用を実施したい。したがって、zoom会議の法人契約を結びたい。

これらを議場に諮ったところ、満場異議なく認められた。

- ②JBAの裁定委員会より本県関係者について裁定委員会を開催する旨の通知があった。そのため、その権限を県協会よりJBAに移管したい。

これらを議場に諮ったところ、満場異議なく認められた。

- ③R3年度の国体コーチについて一覧表を示し提案がある。

これらを議場に諮ったところ、満場異議なく認められた。

- ④JBAよりTO委員長の選出依頼が来ている。本県としては、従来からあるTO委員会委員長の小林幹央氏を推薦したい。

これらを議場に諮ったところ、満場異議なく認められた。

以上ですべての議案の審議を終了したので、午後7時40分に閉会した。


以上の議事の内容を記録し、これを証するため署名押印する。

2021年3月16日（火）

議 長

氏 名 小曾戸和彦 

議事録署名人

氏 名 益子基久 

議事録署名人

氏 名 佐藤圭一 